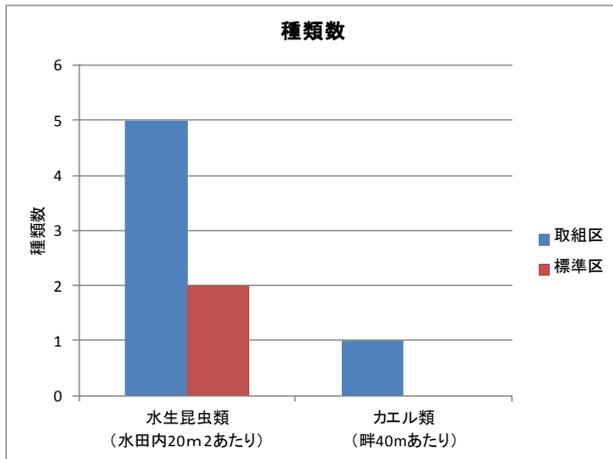


生き物緩衝地帯の設置

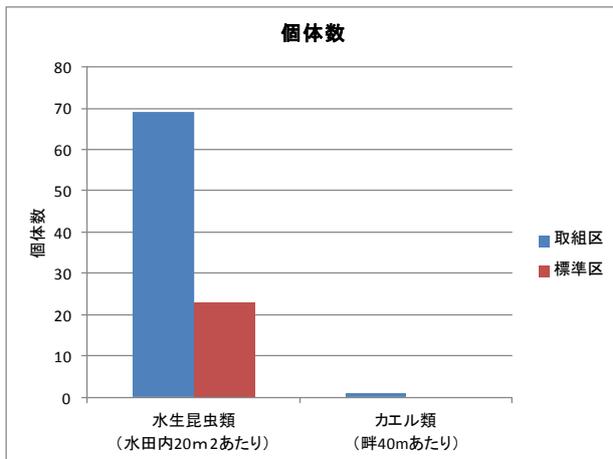
取組区と生き物緩衝地帯（水路）と標準区との比較

調査地点数: 1地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m ² あたり)	5	2	69	23	0.44	0.26
カエル類(畔40mあたり)	1	0	1	0	0	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



生き物緩衝地帯の水路と水田（鯖江市）



多く確認された水生昆虫類（コミズムシ）



生き物緩衝地帯で確認されたメダカ

生き物緩衝地帯の取組区分において、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類の種類数および個体数は、取組区が最も多かった。

カエル類については確認個体数が少なく、取組区と標準区の差は確認できなかった。

多様度指数は、水生昆虫類について取組区で高くなる結果となった。